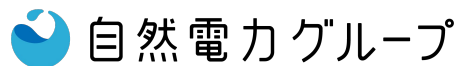


自然エネルギーと地域経済循環

Ken Isono

青い地球を未来につなぐ。

We take action for the blue planet.



自然電力について

自己紹介

1981年生まれ。

慶應義塾大学環境情報学部卒業。コロンビアビジネススクール・ロンドンビジネススクール MBA。大学卒業後は、株式会社リクルートにて、広告営業を担当。

鹿児島県屋久島での観光事業を立ち上げた後、風力発電事業会社へ転職し、全国の風力発電所の開発・建設・メンテナンス事業に従事。

2011年6月自然電力(株)を設立し、代表取締役役に就任。



PURPOSE:

Why we do what we do.

私たちの存在意義



We take action for the blue planet.

青い地球を未来につなぐ。

自然電力は、青い海や緑の山々を身近に感じて育ってきた創業メンバー3人によって日本で生まれました。2011年3月11日の震災の3ヶ月後、3人を突き動かしたのは誰かに頼るのではなく、“自分たちの未来は自分たちでつくる”という強い思いでした。

私たちは、この青い地球を未来につなぐために、自然エネルギーへの転換が最大のインパクトを持つと信じています。

地球上の環境負荷が増し気候変動が加速する中、エネルギーの転換を1日でも早く実現するには、共通の想いを持った世界中の仲間たちとの共創が不可欠です。私たちは、より多くの人々が地球上で幸せに暮らし続けるため、その第一歩として“自然エネルギー100%の世界”を仲間と共創します。

また、私たちはエネルギーから、世界の課題を解決することを目指しています。画一的なグローバル化ではなく、世界中のローカルをつなぎ、新たな価値を生み出すネットワークを創ります。最大の挑戦は短期的な利益の還元だけでなく、未来へ再投資する新たな資本循環の仕組みを構築することです。

自然電力は、青い地球を未来につなぐため、挑戦し続けます。

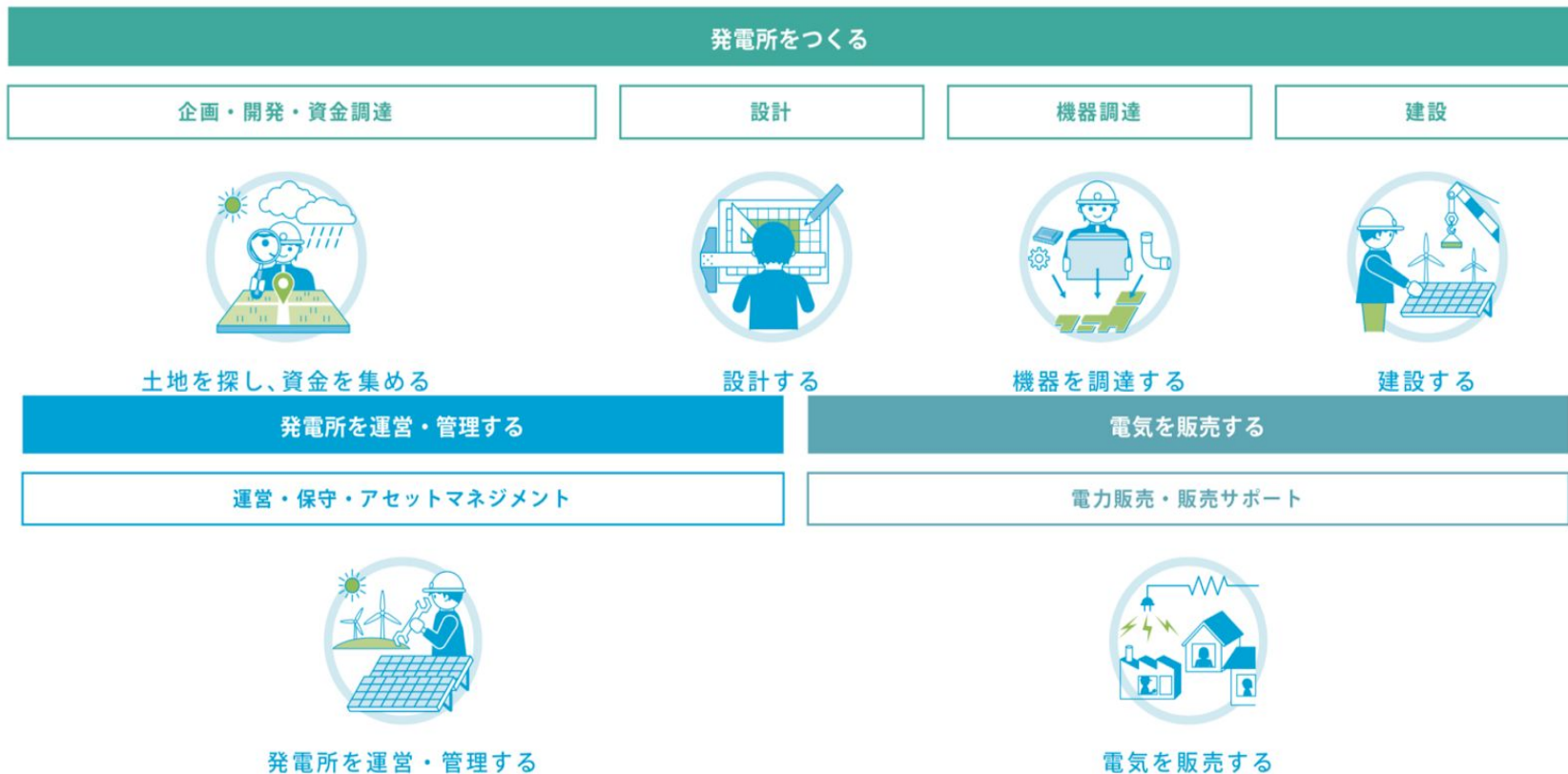
会社概要

企業情報 Company Profile

本社 Headquarters	福岡県福岡市中央区荒戸 1 丁目 1 番 6 号 1-1-6 Arato, Chuo Ward, Fukuoka
役員 Officer	代表取締役 Representative Director 磯野 謙 Ken Isono 川戸 健司 Kenji Kawado 長谷川 雅也 Masaya Hasegawa 取締役 Director 磯野 (遠田) 久美子 Kumiko Isono(Enda)
設立 Establishment	2011 年 6 月 June, 2011
資本金 Capital	679,149,150 円 (資本準備金含む、2021 年 3 月末時点) 679,149,150 JPY (including capital reserves, as of end-March, 2021)
事業内容 Description of Business	太陽光・風力・小水力等の自然エネルギー発電所の発電事業 (IPP)、 事業開発・資金調達、アセットマネジメント、個人・法人向け電力小売事業 Development, fundraising and asset management for solar, wind, small hydroelectric and the other renewable energy power plants. Holding and operating owned solar power plants. Supplying electricity to individuals and corporations.

自然電力グループ沿革 History of Shizen Energy Group

2011/06	自然電力株式会社を設立 Shizen Energy Inc. established
2012/12	グループ初のメガソーラー「合志市・熊本製粉太陽光発電所 (熊本県)」(1MW) が完工 The first mega solar power plant(1MW) in Kumamoto completed
2013/01	juwi AG (ユーイ、本社: ドイツ) と合併会社 juwi 自然電力株式会社を設立 Juwi Shizen Energy Inc., the joint venture with Juwi AG, established
2013/05	juwi AG と合併会社 juwi 自然電力オペレーション株式会社を設立 Juwi Shizen Energy Operation Inc., the joint venture with Juwi AG, established
2013/05	自然電力ファーム株式会社を設立 Shizen Energy Farm Inc. established
2016/03	ケネディクス自然電力ファンド設立 Kenedix Shizen Energy Fund established
2017/02	東京ガス株式会社と資本業務提携契約を締結 Alliance Agreement on Capital and Business Partnership with Tokyo Gas Co.,Ltd. signed
2017/11	電力小売事業への参入と「自然電力のでんき」販売開始 Power retail business launched and "Shizen Denryoku no Denki"(SE100) started
2018/02	グループ初の風力発電所「唐津市湊風力発電所 (佐賀県)」(約 2MW) が完工 The first wind power plant project in Karatsu city, Saga completed
2018/11	グループ初の小水力発電所「小布施松川小水力発電所 (長野県)」(約 0.2MW) が完工 The first small hydroelectric power plant project in Obuse, Nagano completed
2018/11	株式会社 Goolight および小布施町とながの電力株式会社を設立 Nagano Denryoku Inc., established by Goolight Inc., Obuse town and Shizen Energy Inc.
2019/07	グループ初のブラジル太陽光発電所「CAPÃO SECO (カポ・セコ)」(約 1.1MW) が完工 The first solar power plant project in Brasilia, Brazil completed
2019/11	Northland Power Inc. (ノースランド・パワー、本社: カナダ) と 洋上風力発電事業における合併会社千葉洋上風力株式会社を設立 Chiba Offshore Wind Inc., the joint venture with Northland Power Inc., established
2019/12	自然エネルギー発電所の開発投資を目的とした「自然ファンド (SHIZEN Fund)」を設立 "SHIZEN Fund" as Investment Fund for renewable energy power plants established



グループ実績

開発実績
948.6MW

共同開発、コンサルティング、海外実績も含む



完工実績
616.7MW

海外実績も含む

Group
Achievements

 自然電力グループ

グループ実績(2021年2月末時点)



O&M実績
461.0MW



AM実績
189.5MW





グローバル/ローカル



セネガル

自家用ミニグリッド電力の事業性調査を進行中



ブラジル

2019年7月に1.1MWの太陽光発電所(直接供給契約)を完工、案件のパイプライン拡大中



ナイジェリア

プロジェクト開発のために現地企業と協力に合意



マレーシア

屋根置き太陽光事業を実施する為のSEDAライセンス取得済み。現在複数案件の開発が進行



インドネシア

日系自動車メーカーの工場屋根に1.4MWの太陽光発電所(直接供給契約)を完工

Confidential



ベトナム

現地開発業者と約21MW風力事業運営中



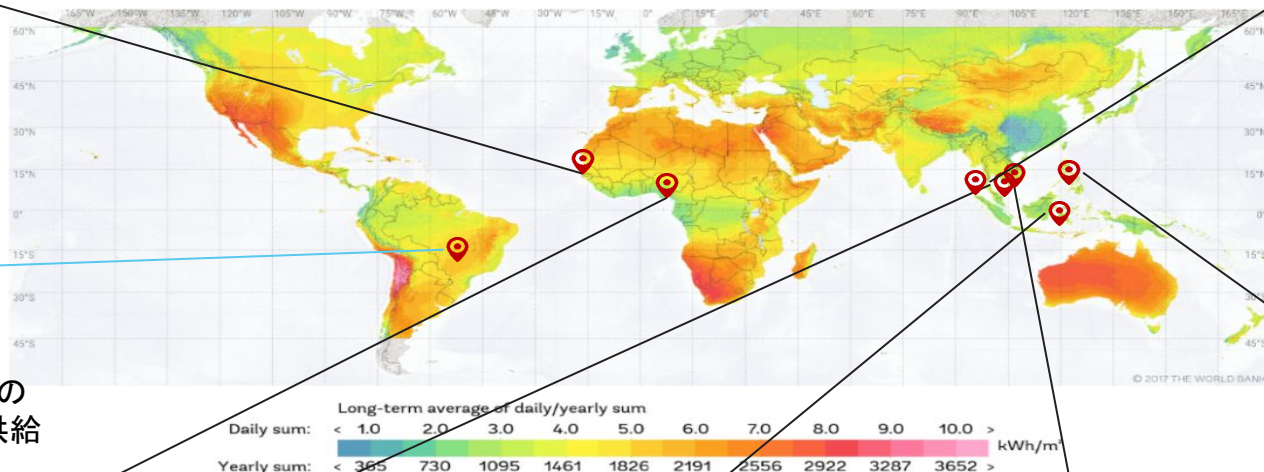
タイ

現地事業者と日本企業の工場向け屋根置き太陽光5MW完工



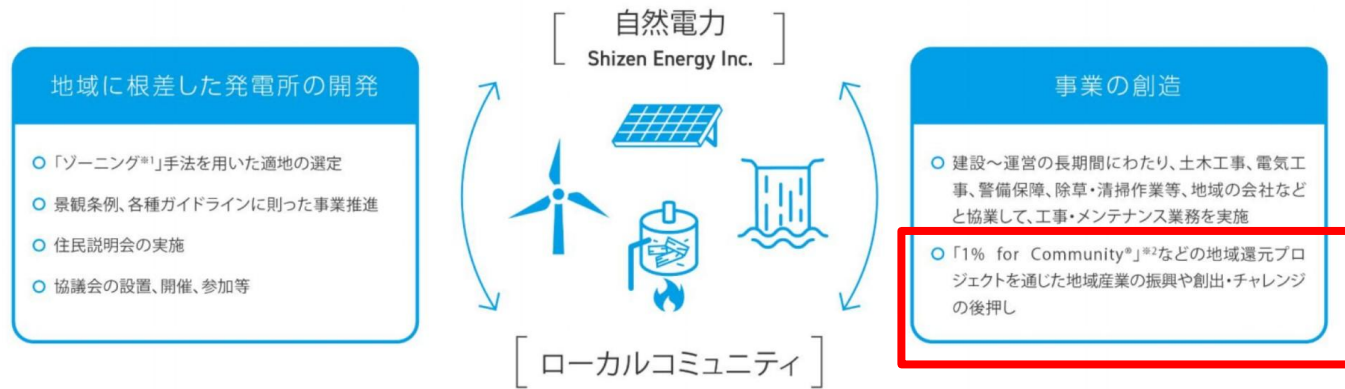
フィリピン

ミンダナオ島にて33MWの風力発電プロジェクトに着手(JCM採択案件)



地域ファイナンスモデル

1% for Community



<事例>

・自然基金

自然電力グループが保有する発電所※3)の売電収入の一部を、自然電力が設置する「自然基金」にて管理し、コミュニティの活性化に役立てる計画。



・合志農業活カプロジェクト

自然電力のグループ会社である自然電力ファーム株式会社、地元合志市の企業である熊本製品株式会社、合志市の3者が設立した合同会社が主体となり、売電収入の一部を発電所が立地する熊本謙合志市の農業復興に還元する取り組み。



※1 ゾーニングとは、ヨーロッパで盛んに取り入れられている考え方であり、太陽光や風力などの自然エネルギー発電所の導入を推進するという前提のもと、行政区内どの地域に設置するのが最適であるかを予め、行政レベルで決めることです。地域の環境問題（景観等）の解決策として発展した手法です。

※2「1% for Community」は、自然電力グループが手掛ける自然エネルギー事業の総称で、その内容はプロジェクトごとに異なります。

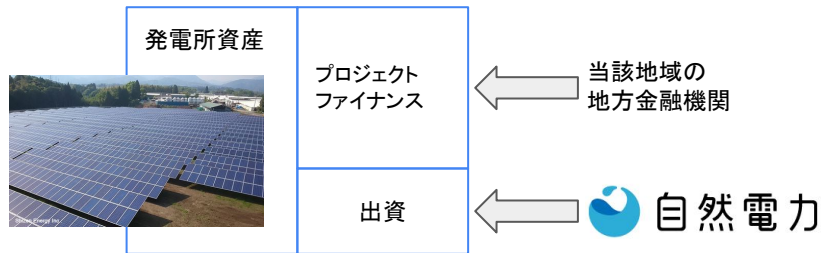
※3 グループ保有とは、自然電力もしくはその関係会社（子会社、孫会社、特別目的会社等）を通じて出資している案件を指します。

地域金融機関等との取組

全国の20行以上の地域金融機関等との取引を通じ、地域との共生を実現

プロジェクトファイナンス

SPC



発電所売上の一部(~1%)を寄付・基金化

災害支援・緊急支援



熊本豪雨被害被災地への義援金
写真:産経ニュースより

地域課題解決に取り組む団体への社会的投資



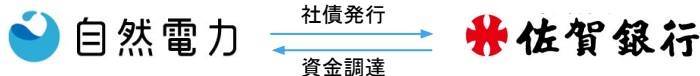
一般社団法人子ども宅食応援団



株式会社コラボラネット

コーポレートファイナンス

事例①:佐賀銀行様を引受先とする社債発行



調達資金で唐津市浄水施設に防災のための太陽光パネル・蓄電池導入事業を実施



発行手数料の一部で同行を通じ地元小学校に寄付
一輪車と一輪車用練習スタンドを寄贈いただきました!



このたび、自然エネルギーに力を入れている自然電力株式会社様と佐賀銀行様より子どもたちの教育活動に役立ててくださいますようお願いの申し出がありました。非常にありがたいことで、職員で検討し、「一輪車」と「一輪車用練習スタンド」をお願いしました。これまで、ブロック塀や木につかまって不安定な所で練習をしていた子ども間隔をあけて並んで練習をしています。乗れるようになった子どもも増えました。感謝の気持ちをもちこれからも大切にさせていただきます。

佐賀県内小学校学校だよりより

事例②:りそな銀行様を引受先とする社債発行

社債発行を通じ福岡県コロナ基金へ寄付

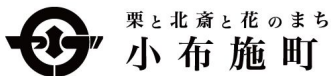


社債発行を通じ外務省外郭 SDGs団体へ寄付

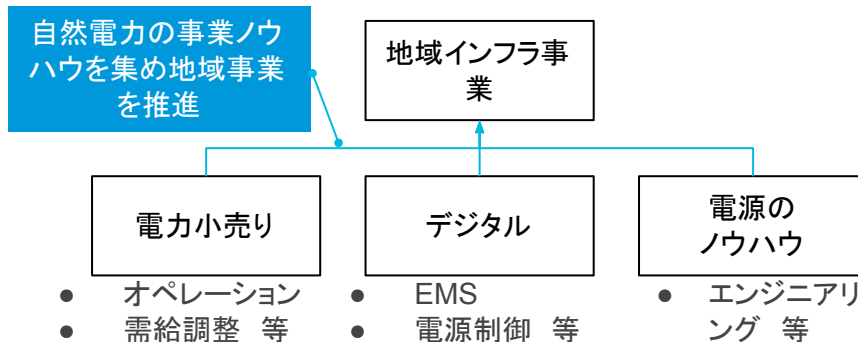


事業概要

- 自治体や地元企業とのJVの組成等を通じて、域内の電力小売りや電源創出を担う地域インフラ事業の立ち上げを実施
- 自治体による再生可能エネルギー推進のコミットメントや、電力の地産地消のニーズを捕捉
- 2013年頃より話を進めてきた長野県小布施町における「ながの電力」を2018年に設立



体制



実績/今後の展開

ながの電力概要

設立	2018年8月
株主	小布施町、(株)Goolight、自然電力(株)
展開事業	電力小売り、PVのTPO、まちづくり事業



今後の展開

- 既存取組のながの電力は小布施町と締結した次世代インフラに関する包括提携(次頁ご参照)等による総合的なまちづくりに挑戦
- ながの電力で培ったノウハウを基に、他自治体とも具体的な地域インフラ事業創出等に関わる協議を実施中



小布施町の目指す姿

「次世代型レジリエントタウン」への転換

整備開始から50年。電気、上下水道、公共施設などの公共インフラへの再投資が必要な時期

大切にしたい4つの価値観

縮小時代の公共インフラ

縮小社会にあった持続可能な公共インフラを持つまちを実現する

地球環境への貢献

地球環境に貢献する脱炭素型のまちを実現する

災害を前提とした都市構造

頻発する災害への高いレジリエンスを持ったまちを実現する

自然と文化の共生・調和

小布施の歴史や文化の特色を活かしたまちを実現する

想定される成果物（～2021年8月）

- 最終報告書
 - 実行計画の概要
 - 収益構造
 - 運営体制
- 地図やイラストによる可視化
 - 具体的なインフラ設備の整備計画
 - 設備同士や過程を繋ぐネットワーク（排水・送配電）

シグマクシス社、Goolight社と
電気、水道、通信をセクターカップリングする実証実験へ

青い地球を未来につなぐ。
We take action for the blue planet.

